

なんぴう

2011年1月31日
第18号



平成22年12月24日(金)に行われたクリスマス回診の様子です。

目 次

■ 次世代を育てる日南病院	1
■ 糖尿病患者さんを地域の多くのスタッフで支える	2
■ 「いのちを支える玄米スープ」ってご存知ですか?	3
■ 特集「次世代を育てる日南病院」	4
■ 研修・見学等の平成21年度受入れ実績について	11
■ 院内トピックス	12
■ みなさんのご意見コーナー	13
■ 外来診療日程表	14
■ 第8回県立日南病院こどもスケッチ大会優秀作品	16

日本医療機能評価機構(一般病院)認定病院

県立日南病院

〒887-0013 宮崎県日南市木山1丁目9番5号

TEL 0987-23-3111

FAX 0987-23-5142

<http://www.pref-hp.nichinan.miyazaki.jp/>

Eメール: nichinan-hp@pref.miyazaki.lg.jp

次世代を育てる日南病院

－「志」を語り継ぐ－

看護部 副看護部長

山崎 美鈴

平成22年12月5日、NHK大河ドラマ「龍馬伝」は終わりました。薩長同盟を成し大政奉還を実現させ、慶応3年11月15日、龍馬は京都伏見にて32年の生涯を終えました。その龍馬を育んだのは、江戸幕末の先人達でした。肥後の横井小楠、松代の佐久間象山、長州の吉田松陰、江戸の勝海舟等々。彼らは時代と世界を示し、あるべき次の世を描き、その「志」を語り継ぎました。それを受けて、多くの若者がその「志」の実現に心血を注ぎ、明治は生まれました。そして、龍馬をはじめ多くの志士はその役目を終えると、突如として歴史の舞台から去っていきましたが、彼らの思いは引き継がれ明治は開花しました。

つまり、現世代の人々が状況を見据え、未来を思い描き、進むべき方向を示し、そして、次世代の人々がそれに向かって活躍することで新しい世が生まれました。

日南病院でも、それぞれがそれぞれの部署で、よりよい看護を目指し、教育プログラムという見える形で、あるいはそれとは見えない業務の中で、次世代を担う看護師を育てています。

プログラムは、県や看護協会をはじめとする外部の研修や学会などを組み込み、技術・接遇・コミュニケーション・リーダーシップ・マネジメント等々多岐にわたりますが、ナイチンゲールの表現を借りれば、「次世代を育てるとは、個々人の能力が最大限に生かせるようすべてを整えることである。」つまり、もっと自己教育の環境整備に力を注がねばならないと考えています。

そして、次世代を担う人々が、それらを基に豊かな能力を身につけ、どこの社会でも通用する人材へと育てて欲しいと思います。自分の目でよく見よく感じ、自らの考えをしっかりと持ち、他とはアサ・タイプにコミュニケーションして調和し、積極的に看護に取り組んでほしいと思います。加えて、現世代も次世代も、みんなが同じ方向を目指す仲間・同志として、自らには「誠意・スマート・チャレンジ」、他には「公正と笑顔」で、共に進んでいきたいと願っています。

私達は、よりよい看護への「志」を語り継がなければなりません、やがてステージを去る時はやってきます。その時、やり残したことは多々あろうとも、自分ではできるだけことはしたと、満足して去りたいと思います。龍馬は「志」半ばで倒れました。しかし、「これでええぜよ。」と、消え行く意識の中、心穏やかに去っていったのだと信じます。ある先人は、「若い人々よ、今君たちの番が来ている！われわれを踏み越えて行きたまえ。そして前進したまえ。われわれよりもいっそう偉大で幸福でありたまえ。」と言い遺しています。



日南海岸 梅が浜の日の出

「糖尿病患者さんを地域の多くのスタッフで支える ～糖尿病連携クリティカルパスのご紹介」

糖尿病という病気をご存知でしょうか？ 生活習慣病のひとつとして有名ですので一度は耳にしたことはあると思います。糖尿病は「糖が尿（おしっこ）に出る」病気です。健康な人では尿に糖分は出ないのですが、血液中の糖の量（血糖）が多いとお風呂の水があふれるのと同じ様に、尿に糖分があふれ出るわけです。

この糖尿病は、宮崎県医療計画でしっかりと取り組まなければならない4つの大きな疾患のひとつとしてとりあげられています。それは糖尿病がひどくなると様々な病気を引き起こすからです。例えば心筋梗塞や脳梗塞を起こしたり、腎臓の働きが悪くなって慢性腎不全から人工透析を受けなければならなくなったり、足の一部が腐って（壊疽）足を切断することになったり・・・多くの重大な病気の原因になることがわかっているのです。

糖尿病患者はかなり多くいると推定されていますが、実際自分が糖尿病という自覚を持っている人は少ないようです。なぜならば、血糖値があがり糖尿病状態となっても全く自覚症状がないからです。つまり痛くもかゆくもないのです。ただそういった状態を長年にわたって放置すると上記のような大変な病気を引き起こすわけです。

県立日南病院で糖尿病診療に従事しているスタッフたちは、患者さんが自覚しない程度の糖尿病軽症のうちにしっかりと治療することで重症化を防ごうと考え、南那珂地域の医療機関の皆さんと手を携えて診療する仕組みをつくりました。これが「糖尿病地域連携クリティカルパス」です。「地域連携クリティカルパス（連携パス）」って聞き慣れない言葉ですね。「クリティカルパス（パス）」とは、ひとことで説明すると「検査や治療などのスケジュールをまとめた計画書」です。このパスを、県立日南病院だけではなく、地域の医療機関と共同でつかうものが「連携パス」です。つまり複数の医療機関が同じ考え方・治療方法でひとりの患者さんの治療を行なうための手引きというイメージでしょうか。

南那珂地区の糖尿病連携パスは、県立日南病院・日南市立中部病院と一部のかかりつけ医で使います。最初両病院へ3泊4日入院して検査等を行ない糖尿病の状態を調べます。そして退院後はかかりつけ医を毎月受診しながら糖尿病がよくなっているかをチェックし、6ヶ月後にまた両病院を受診してその間の全経過をまとめてチェックするという流れです。糖尿病は眼や歯周病と関わりが深いことから、この連携パスには歯科受診や眼科受診をすることも組み込まれています。

現在、多くの医療機関がそれぞれの特徴を生かして地域の皆さんの医療を支える「地域完結型医療」がすすめられており、この連携パスはその重要なツールとなります。糖尿病は医師、看護師、栄養士、薬剤師など多くの職種の人に関わり患者さんを支援することでよりよい療養ができます。このような連携パスを用いることで、複数の医療機関／たくさんのスタッフが手を携えひとりの患者さんの診療を計画的に行なうことができるのです。この取り組みを拡げて、南那珂地区の糖尿病患者さんによりよい医療を提供したい、とスタッフ一同心より願っています。

（医療連携科 木佐貴 篤）

緩和ケアチーム

「いのちを支える玄米スープ」ってご存知ですか？

これは料理研究家の辰巳芳子先生が、お父様の介護をきっかけに考案されたスープの一つです。辰巳先生は、嚥下障害のお父様のために夏の夕方は冷たいトマト風味のスープ、そして冬は好物のセロリとヒラメの酒蒸しのポタージュと、日替わりスープを8年間作り続けたそうです。まさに命を支えるスープだったようです。それらのスープの中の一つに「玄米スープ」があり、医療現場でも注目を集めているそうです。

先日行われた病院祭では、栄養管理科に協力をいただき玄米スープを作って、緩和ケアチームの展示コーナーを訪れる方にふるまってみました。160名の方々が試飲してくださり、なかなかの好評を得たんですよ！

私たちがこのスープを知るきっかけとなったのが、今年の緩和ケア&自治会による「サイモン療法」の研修でした。講師として滋賀県から日南まで来てくださったおヒゲの優しい笑顔の田村祐樹先生（クマさん先生）を覚えていらっしゃいますか・・・？先生の勤務する緩和ケア病棟では、診察の合間に先生自らせっせとこのスープを作り、「もうすぐ出来るで〜」「待っててナァ」などと患者さんらと会話しながらコミュニケーションをとり、先生自らスープを配り、それを患者さんも楽しみにしている・・・という、何とも微笑ましいお話がありました。県立宮崎病院でも、時々、緩和ケアチームが玄米スープを入院患者さんにふるまっているという話も聞きました。そこで、私たちも作ってみようということになり、病院祭でこの「いのちを支える玄米スープ」がデビューしたというわけです。

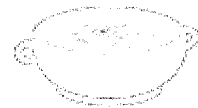
現在の緩和ケアチームの活動の一つとして、病棟ラウンドで麻薬の取り扱いのチェックを行っています。いずれは、疼痛コントロールが困難な患者さんの相談や心のケアなど、緩和ケアチームとして介入していけるようなラウンドを行いたいと考えています。そしてその時に玄米スープを通して温かい気持ちもお届けできるチームに成長できるといいなと思っています。最後になりましたが、玄米スープのレシピを紹介しますね。

★材料★

- ・玄米 80g (1/2 カップ) …玄米は洗ってザルにあげて6時間ほどおいたもの
- ・昆布 5cm 角のもの 2～3枚
- ・梅干 1個
- ・水 5カップ

★作り方★

鍋を熱し、玄米をやや弱火で全体が小麦色になるまで20分くらい煎る。煎った玄米、昆布、梅干、水を中火にかける。煮たったら弱火で約30分、玄米のいい香りがたってきたら出来上がりです。茶こしでこしてお召し上がりください。



★熱々のうちにいただくのが一番美味しいと思いますが、冷やしても深い味わいがあるそうです。滋養に良く、便通にも良いそうです。病気でなくても、ちょっと元気がない方にも作ってあげてください。煎る手間が少し必要ですが、このスープを飲むあなたの大事な人のことを思いながら手間をおしماず作ることによって美味しさも暖かさも倍増しますよ。

<看護部メンバー>

山田正子 野元敦子 清水サナエ 谷口敦子 永峯由里子 福永真弓
徳田美喜 三谷博美 井上愛美 長智美 小早川淳子 飯田ゆかり

県立日南病院では地域の医療を担う人材育成のため、毎年研修の受入れを行っています。今回は研修生の皆さんに体験談や感想などを綴っていただきました。また、病院スタッフには研修生に対して望むことなどについて書いてもらいました。

臨床研修に思う

分山 尚美

研修医2年目の分山尚美と申します。平成21年4月よりこの県立日南病院で初期研修を開始し、早くも1年と9ヶ月が経ちました。昨年度は内科6ヶ月、外科4ヶ月、産婦人科1ヶ月、小児科1ヶ月とローテートし勉強させていただきました。今年度に入ってから、地域医療としてきよひで内科クリニック1ヶ月、精神科として谷口病院1ヶ月、5月からは再び産婦人科を6ヶ月まわり、現在は再び谷口病院で研修をさせていただいております。

内科では肺炎や心不全など一般的な疾患を幅広く経験させていただきました。最初にまわった科でしたので、看護師さんへの連絡や報告などの大切さ、患者さんとの接し方など、医師として働くうえで必要なことをたくさん学びました。外科では消化管出血、イレウスといった救急疾患から悪性腫瘍まで幅広い疾患の診療に関わることができました。さまざまな手術に参加させていただき、糸結びや縫合などの基本的な手技を始め麻酔科の先生の指導のもとCVカテーテル挿入や気管挿管も学ぶことができました。また救急外来の当直が月に4回ほどあり、さまざまな症例の経験を積めました。先生方はとても優しく面倒見がよいので決して一人で判断を迫られるようなことはなく、安心して診療にあたることができました。

そのほか日南での楽しみという点、伊勢えびを始め魚介類が新鮮でおいしいこと、プロ野球のキャンプ地があること、ごく近場で釣りができることなど研修以外の面でも楽しい日常を送ることができます。

この1年と約半年の期間で医師として本当に楽しく充実した経験をさせてもらいました。先生方や看護師さん、病院スタッフの皆さんに温かく接して頂き、本当にこの病院を選んでよかったと実感しています。感謝の気持ちでいっぱいです。残りの研修期間もどうぞよろしくお願いいたします。

救急救命士就業前研修を終えて

日南市消防本部 河野 将之

救急救命士の資格を取得して約2年、消防士になり約7ヶ月が経過しました。救急活動経験が非常に浅い私ですが、この時期に約1ヶ月にわたる研修を受けられた事は、私自身大変光栄に思います。

日々進む医療現場においてこの研修は、特定行為等の臨床実習の場として大変重要であると感じ、日々の訓練や救急活動では身につけることが難しいことが、実習を通して、より確実に行えるようになったと感じます。また今回の研修は1ヶ月間ということで、患者さんの病気やけがが治癒していく過程も見られ、人間の回復力の強さというものを改めて認識したと同時に強く感銘しました。

今回の実習では救急センター以外に病棟の実習もあったのですが、そこで驚いたのが、仕事の忙しさ、それとスタッフの皆さんのパワーです。今まで体力には多少なりとも自信はあったのですが……スタッフの皆さんのパワーはスゴイの一言です。また実習中は、殆どの場面に参加でき活動できたので、孤独感・不安感を解消できることができ、やる気と自信へと繋がり、とても有意義な時間を過ごすことができました。

今回多忙な業務の中、医師、看護師の皆さんにはとても熱心に指導していただきとても感謝しています。これからも病院関係者とのコミュニケーションを図る為にも更なる研修の継続を希望するとともに、救急医療の一翼の担い手としてより一層努力し、レベルアップしていきたいと思っております。



病院実習での学び

日南学園高等学校 看護科3年 酒元 ひかり

私は、今回初めて本格的に看護過程の展開を実践していく実習を行い、様々な学び、つまずきがありました。まず、コミュニケーションを中心とした情報収集では、始めは1つの話題から話を広げることができず、沈黙が続いてしまうことがありました。しかし、日々患者様と関わっていく事で、沈黙も減り、意識した会話からだけでなく自然な関わりの中で、患者様を理解していくことが関係性を構築していくのに必要なことだと学びました。

次に問題抽出では、情報分析を行っていきましたが、その問題が加齢に伴う機能低下なのか、患者様の疾患によるものなのか見極めが難しく、基礎学習の重要性を痛感し、改めて問題抽出の難しさを認識しました。しかし、指導看護師さんや、先生方からの具体的なアドバイスや、グループで行うカンファレンスの意見から、患者様の問題抽出ができました。その問題に対して実践を行う過程で、看護過程とは、より細かな情報収集をおこない、個別性を持ち患者様を不健康な状態から健康な状態へと導く、科学的根拠に基づいた意図的な活動であると学ぶことが出来ました。

今回の実習で改めて看護の深さを感じ、それと同時に『看護師になりたい』という思いも強くなりました。また、私にも出来る事があり、経験を重ね身につけていくこと、その機会を自分で作ろうとする積極性を持つことが大切で、それが自分の自信に繋がると実感できました。そして、何よりも患者様の『ありがとう』という言葉が一番の支えになりました。

看護師さんからは、実習中、ケアやコミュニケーションについてのアドバイスを頂き、看護師さんと患者様の関わり方から、患者様個々に合わせた看護、コミュニケーションが大切なのだと実際見て学ぶことができました。実習の場を提供していただき、患者様を受け持たせていただいた事で、多くの学びを得ることができました。本当にありがとうございました。

県立日南病院における臨地実習について

熊本保健科学大学 保健科学部 衛生技術学科 3年 高橋 貴行

私はこの度平成22年11月18日より平成23年1月21日まで県立日南病院の臨床検査科にて隣地実習のお世話になっております熊本保健科学大学の高橋貴行と申します。

この病院を実習先として選んだのは実家が日南市内であり近いというのが主な理由の1つでしたが、実習も半ばを過ぎてこの病院で実習できたことに大変感謝しております。

まず、「百聞は一見に如かず」の通り講義や本で何回見聞きするよりも実際の検体ははるかにインパクトがありました。また、スタッフの皆さまから宮崎の医療についての『生の声』を聞かせていただけることで宮崎県立病院の現状が認識出来ました。

さらにスタッフの方々の能力の高さと和やかな中にも流れる緊張感に驚かされました。

宮崎の医療は全国からみるとかなり遅れをとっており、深刻な医師不足や病院の休診廃院も多いと聞いていますが、職員と患者さんがそれぞれに問題点を見つけ解決しながら共に手を携え協力していけば時間はかかるかもしれませんが地域医療の再生は決して夢ではないと思います。

私も残りの実習をしっかりとこなしながら課題を見つけていき、確かな知識を1つでも多く身につけて来年の国家試験に合格し臨床検査技師としてのスタートラインに立って、宮崎県の地域医療再生の一翼を担えればと強く思っております。

残りの期間でより多くのことを学び、社会人として、医療従事者として一回り成長できるよう努力したいと思いますのでこれからどうぞ指導よろしくお願ひします。



県立日南病院での臨地実習を通して

—看護への強い決意を胸に—

宮崎県立看護大学 阪元 絵里奈

私は、約3週間、県立日南病院で臨地実習をさせていただきました。

今回の実習は4年次に行われる総仕上げの実習で、実習病院は自分の将来の方向性や興味関心に沿って選択します。そこにはこれまでのように指導してくれる大学の先生の姿はありません。そのため通称「1人立ちの実習」ともいわれます。

この実習に県立日南病院を選択したのは、私が南郷町出身であり、大好きな地元で重要な役割を果たしている病院、そこで大学最後の実習に臨みたいと思ったからです。

そう思って実習に臨んだものの、今までとは違い、互いに励ましあう大学の仲間や、困った時相談に乗ってくれる先生がいません。実習当初は、とても心細く、「3週間がんばれるかな?」という不安と、希望した県立日南病院で実習できる嬉しさ、そして「どんな患者さんとの出会いがあるのだろう。」という期待が入り混じっていました。

しかし、4階東病棟の看護師長さんやスタッフが、とても優しく受け入れ指導してくださったので、不安はすぐに吹き飛び、毎日が楽しく充実した実習となりました。病棟スタッフと一緒に看護師休憩室で昼食を食べていることを知って、大学の先生が驚いたくらいです。3週間はあっという間で、たくさん学ぶことができました。この実習で、スタッフの皆さんが患者さんのことを一生懸命に考えて看護される様子や、よりよい看護を提供できるようにと日々努力されている姿に触れることができました。

4階東病棟のナースステーションの前に「えんやこら農園」と名付けられた観葉植物の置いてある小さな庭があります。病棟のス

タッフで作られたそうです。私自身もそうでしたが、この緑に癒される患者さんも多いと思います。この農園にスタッフの思いやり・優しさを見たような気がします。



今回は、医療連携科の看護師長にもお話を聞かせていただく機会がありました。様々な職種の方々をつなぎ、退院に向けて患者さんが困らないようにと、日々奮闘されている看護師長さんのお話に、看護の魅力を感じました。「患者さんの困った状態をみると『うっせちよかれん*』とよ!」という看護師長さんの言葉に胸がジーンと熱くなりました。この言葉は看護を行っていく上で一生忘れられない言葉になりました。

来年には、私も看護師として働くことになります。「今回の学びを忘れず、出会った看護師さんたちのように患者さんの思いに寄り添った看護が行なえるよう、日々努力していきたい。」このような強い決意を抱いて終えることのできた実習でした。

今回、実習を受け入れてくださった患者さん、県立日南病院のみなさんありがとうございました。

日南の方言「放っておけない」の意味

小児病棟の実習を通して

—ひとりひとりに合った看護—

日南看護専攻科 2年 平川 侑子

私は、二週間、4階西病棟で小児看護実習をさせていただいた。今までの実習ではもちろん、日常生活でも小児と関わる経験は無く、始めは児とその母親へどう関われば良いのか分からず戸惑う事が多かった。私が受け持った入院して間もない3歳の児は、見るものや行われること全てに恐怖を感じ、「注射するの？胸の写真撮るの？」と看護師が部屋を訪れる度、母親の目を見つめ涙を浮かべ必死に訴えていた。つい先日まで外で走り回り、友達と仲良くおしゃべりをし、活発に過ごしていた環境から、突然理解の出来ない体の苦しみと共に病院という異空間へと連れてこられ、白衣を着ている人に囲まれた児はどんなに不安か想像できた。しかし、不安を取り除く看護を行いたいと思えば思うほどそれを上手く言葉に出来ず、やるせない気持ちでいっぱいだった。指導看護師はそのような児に対し、「よく頑張っているね」と児の気持ちを考慮し、分かりやすい言葉で不安を与える事の無いよう笑顔を絶やさず声かけを行っていた。

小児は、自ら自分の感情を言葉にして相手に伝えるという事が難しく、言葉や行動にして表現していないからといって安心はできない。自分が母親の立場であったらと考え、表情や機嫌からサインを見逃すことなく、今必要としている事は何か考える事が大切であると感じた。

また、実習時、24時間傍に付き添っている児の母親が泣き崩れる光景を目の当たりにした。思っていたより入院生活が長引き、そのことによる不安や子供に対する自責の念等、様々なストレスが加わり感情があふれた

のだった。看護師は家族の協力体制を把握し、母親の話を傾聴した上でわかりやすく説明を行い、不安や苦痛の軽減に努めていた。児も母親が少しの間ベッドサイドから離れようとすると、「どこに行くの？」と不安な表情がみられ、私は“母親”という存在がどれ程大きく、子供に対する愛情がどれだけ強いものなのか、母と子は常に一心同体であるということを感じとる事が出来た。自分が看護師になり、そのように様々なストレスで苦しむ人を目の前にした際、今の自分であったら声をかける事すら出来ないのではないかと思う。現場にいた看護師のように、瞬時に今置かれている状況を把握し、今その方にとって一番にしなければならない事や声かけは何か、児と母親の身体的苦痛の緩和のみでなく、精神面や社会面を考慮した、ひとりひとりに合った看護が望まれているのではないかと感じた。

これから、実習で学んだ小児・家族と看護師との関わりを忘れることなく、常に視野を広く持ち、その人その家族に合った看護が提供できるように、日々学習を重ね努力していきたい。



信頼される看護師を目指したい

—心の中で「やったー!!」—

日南看護専門学校 3年 西村 有香

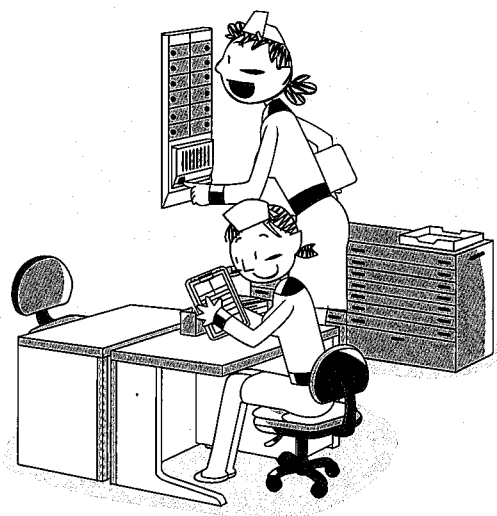
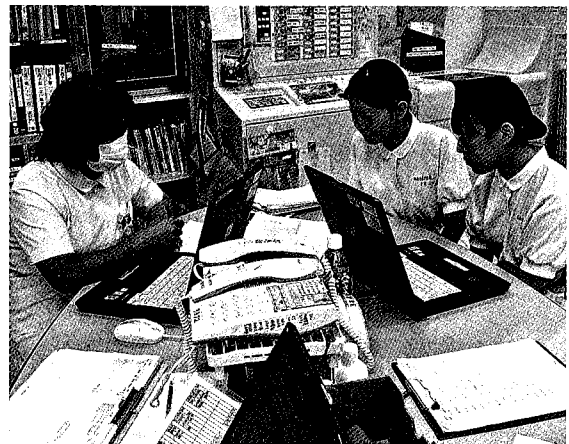
私は、3週間、3階東病棟で成人看護学実習をさせていただきました。

私が看護師になりたいと思ったのは、看護師をしている叔母への憧れからだった。また、母が生命の危機状態に陥った高校3年生の時、その思いは強まった。それは、命の危機を前に、不安・恐怖・心配でいっぱいだった私たち家族に対する看護師さんたちの優しかかわりからだった。その時、あらためて「看護」のすごさを感じ、「看護師になりたい」という自分の気持ちが一層強まった。

今、看護学実習をいろいろな施設でさせていただいている。時には、患者さまとのコミュニケーションの取り方やかわり方が分からなくなったり、実習記録がなかなか進まず時間だけが過ぎていき、焦りや不安でいっぱいだった時があった。そんな時、実習グループメンバーとお互い相談し、支え合って乗り越えることができ、友達のありがたさや大切さを身にしみて感じた。また、担当の看護師さんに勇気を出して、「患者さまにこうしてあげたい」という自分の思いを伝えると、私のその思いを大切に、一緒に援助をしてくださった。私は、看護師さんといっしょに一生懸命援助を行った。その後、患者さまのホッとした気持ちよさそうな表情や、「ありがとう」の笑顔と言葉をいただいた時、心の中で「やったー」と達成感を味わうことができた。緊張した実習ではあったがのびのび実習ができたのは、看護師さんや先生方が私たち学生にいつもアドバイスをして下さり、寄り添い、見守って下さったからだ、とても感謝している。

私は、患者さまやその家族の気持ちを大切

にし、信頼される看護師、医療スタッフからも信頼される看護師を目指しています。そのためには、思いやりのある優しい気持ちを持つこと、そして、日々学習して、知識・技術を身につけていくことが大切だと考えます。今後も、自分の描く理想の看護師像に近づいていけるように、周りの方々への感謝の気持ちを忘れず、主体的に精いっぱい実習や学習に取り組んでいきたいと思っています。



次世代を育てる、ということについての雑感

リハビリテーション科 理学療法士 海野 俊郎

やって見せて

言ってみせて させて見て、
ほめてやらねば 人は動かす

上の格言は第二次世界大戦時の連合艦隊司令長官山本五十六の言葉です。

百年足らず前の言葉ですが、人を育てるといことは昔からなかなか難儀なことのようにです。やってみせて、気づかせて、言ってみせて、気づかせて、やる気を引き出して、させてみる。なかなか重労働です。でもこの場合その後にある「ほめる」という行為が重要です。

この言葉を分解して考えてみると以下のようになります。

- ・ やってみせる ⇒ モデリング ⇒
モチベーション
- ・ 言ってみせる ⇒ コミュニケーション ⇒
受容 ⇒ モチベーション (気力)
- ・ させてみる ⇒ マネジメント ⇒
信頼と共感 (調整)
- ・ ほめる ⇒ フィードバック ⇒
自信獲得 (達成感) ⇒ 行動変容 ⇒
自立

さて今度は別の例を用いてみると、
例) こどもが夕食までに宿題をやり終えて、お母さんに「宿題終わったよ」と言いました。
お母さんは

- 1) よく頑張ったわね。すごいね!
- 2) フーン、そう (無視)
- 3) 全部終わったの? 時間割もしなきゃだめじゃない!

あなたなら、何番の反応をしますか?

たぶん、皆さん1番だと思います。行動の後に生じる結果によって、その行動の出現頻度は影響を受けるようです。つまり褒められたことにより、この子はまた頑張れる要素をもらったわけです。そして自信を獲得していきます。これを正の強化刺激というそうです。もちろん、大人に対してもただ褒めればよいというものではなく、状況を考える(場合によっては叱る ただし感情を交えない)ことも重要です。

目標を達成し、自信を獲得することで自立の道が開かれていく。つまり未熟な(依存型)

人材から自立型人材の転換が行われていきます。

ここで、自立型人材の育成といたしましたが、これは間違いではなく職場のひいては社会の宝になるほどの人を指します。

じんざい (Human Resources)

<3つのじんざい>

人材=社会に貢献できる能力を發揮している人 (自立型)

人材=社会に必要な能力を持った人 (依存型)

人在 (人罪) =ただそこにいただけの人

誰でも人材になりたいな、と思いますよね。

リハビリテーション科にも実習生が来ます。「評価実習」と「臨床実習」と形態の違う実習があります。「評価実習」は2週間程度で「臨床実習」は8~10週間と長期になります。「評価実習」では学生の学習到達度を推測し目標を明確に設定することで、達成感をもたせ、次の「臨床実習」につながるように配慮をしています。

また「臨床実習」になると長期になるため、学生とじっくりと向き合うことが可能となります。指導者としてはリハビリテーションのプロセスを総括的に経験させる必要があります。特に治療におけるPDCAサイクルの螺旋に対応できるように教育しなければいけません。また学生指導には性格的側面の評価も必要になります。しかし実習中には逸脱した学生に対する指導の仕方や不適切行動に対する対処の仕方など指導者としてのあり方が問われる場面もあり、いつも苦心惨憺! 結局なかなか思い描いた様にならないのが現実です。

学生の指導ばかりでなく、職場においては、その人の立場にたって助言ができているのか、自分自身の「知力」「感心力(心・感情)」「行動力(実行力)」「場力(現場力・組織力)」「活力(生命力・気力・胆識)」が保持できているか、大局観を持っているかを考えています。人を育てるのは自分育てにほかならないと思うのです。

(この文章は自分育てのため参加した研修会の知識をちょっとだけ活用しました。)

次世代を育てる日南病院

栄養管理科

栄養管理科には毎年2～3月にかけて、管理栄養士養成施設の大学3年生が2週間（土日を除く実質10日間）の臨床栄養学実習に、また、10月には日南学園高校調理科2年生が土日を除く7～8日間、調理師としての実習に来ています。

大学生と高校生で年齢の違いがありますが、どちらも初めて学外に出て、教科書にない体験をし、一回り大人びて学校に帰ることとなり、その後の学生生活の目標がはっきりしてくるようです。

短い実習期間ですが、指導する私達も緊張します。実習を通してできるだけ多くの体験をしていただき、「将来なりたい職業」として自覚と目標を持ってもらえるとうれしく思います。



南九州大学・健康栄養学部・管理栄養学科からは4人の実習生でした。

- ・NST（栄養サポートチーム）のカンファレンスを楽しみにしていました。それぞれの専門職が、患者さんにとって一番良い栄養サポートについて、実際に意見交換を行う様子がわかったことが貴重な経験でした。

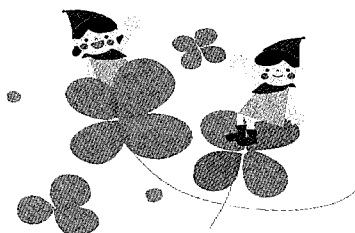
- *日南病院のNSTは、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、臨床検査技師、理学療法士（作業療法士）のチームで患者様の身体状態や栄養状態に応じた栄養療法を行い、患者様の早期回復のお手伝いをしています。

- ・病院の管理栄養士さんの栄養指導や患者さんの声などを間近に聞いて視野が一気に広がりました。

- ・実習をとおして「自分のやりたいこと」が具体的に見えてきました。

- ・机上では決して学ぶことのできない食事を管理する責任の重さや、患者さんと接してみて本質を見据え背景を理解することの難しさを知りました。

- ・病気の症状は個人個人で異なり誰もが教科書どおりの経過をたどるとは限らないと知り、NSTの必要性、栄養学の深さを実感しました。



日南学園高校からの4人の実習生です。



- ・病院食の種類が多く、特別食と一般食で様々なことが違っていて、とても大変でした。

- ・病院は、入院されている患者さんに食事を提供する場なので、健康な人を対象とする飲食店とは大きく違いがあることを学びました。

- ・食べ物を扱うという事は、命に携わるという事なので、衛生面を一番に考えて調理することが大事だとわかりました。

- ・実習を通して沢山のひととコミュニケーションをとることができ、これから社会に出るにあたり、大切なことだと実感しました。

- ・郊外実習で学んだことを活かして、これから、自分の夢に向かって頑張りたいです。

- ・とてもうらやましく思うことがありました。それは、調理師の皆さんがとてもお元気だったことです。失敗して落ち込んでも、皆さんから元気のパワーをもらったような気がしました。

研修・見学等の平成21年度受入れ実績について

1 臨床研修医の受入状況

当院は基幹型及び協力型の臨床研修病院の指定を受け、臨床研修医を受け入れています。
基幹型1名 協力型11名

2 宮崎大学医学部クリニカルクラークシップ

当院では、宮崎大学医学部6年生による診療参加型の臨床実習を実施しています。

期 間	受入れ科	受入人数
4/6～ 5/1	内科・神経内科	2
5/11～ 5/22	放射線科	1
5/11～ 6/5	脳神経外科	1
6/22～ 7/3	放射線科	1
7/6～ 7/17	内科・神経内科	1
7/21～ 7/31	放射線科	1
合 計		7

3 薬剤部薬学部学生実習受入れ

期 間	受入学校名	受入人数
8/24～ 9/11	九州保健福祉大学	1

4 リハビリテーション科学生実習受入れ

期 間	受入学校名	受入人数
8/17～ 10/24	宮崎リハビリテーション学院	1

5 栄養管理科学生実習受入れ

期 間	受入学校名	受入人数
10/7～ 10/16	日南学園高校	3
2/22～ 3/5	南九州大学	4

6 看護部の学生臨床実習受入れ

期 間	受入学校名	学年	実習生数
5月～3月	日南学園高校 看護科	2年	22
		3年	46
	日南学園 看護専攻科	1年	24
		2年	32
	日南看護専門学校	1年	30
		2年	36
		3年	38
	宮崎県立看護大学	4年	5
	日本医療学園附属 東亜学院（通信制）	1年	1
		2年	1
合 計			235

7 消防署等の救急救命関係の実習受入れ

(1) 救急救命士の再教育に係る実習

期 間	受入人数等
2/3～ 2/10	日南市消防署消防士長 2
2/17～ 2/24	日南市消防署消防士長 2
3/10～ 3/18	日南市消防署消防士長 2
合 計	6

(2) 救急救命士就業前実習

期 間	受入人数等
4/20～ 5/15	日南市消防署消防士長 1

(3) 救急救命士気管挿管実習

期 間	受入人数等
4/1～ 3/31	日南市消防署消防士長 1

(4) 救急科病院研修

期 間	受入人数等
11/16～ 11/20	宮崎県消防学校生 (日南市消防署消防士) 1

(5) Medical control 検証会

救急出動の実例検証を行い、技量向上を図る目的で開催。

期 間	出席者
2/8	医師 1 日南市消防署 4 串間市消防署 4

院内トピックス

医療秘書の紹介

平成21年2月から2名、同年4月から2名、計4名の医療秘書を配置しています。
これは、医師の事務作業の負担軽減と勤務環境の改善を図り、医師が専門性を必要とする業務に専念することで、良質な医療を継続的に提供する環境を確保するために配置されたものです。

業務範囲は、医師の指示のもとに行う以下の内容となっています。

【業務内容】

- ① 診断書などの文書作成の補助
- ② 診療記録への代行入力
- ③ 診察に関するデータ整理、各種統計・調査、院内研修等の準備作業
- ④ 行政機関への報告等に関する補助
- ⑤ その他医師の行う事務作業等の補助

【勤務時間】 午前8時30分から午後4時20分

【執務場所】 図書室

【担当業務】 神恵貴美子（外科、耳鼻咽喉科、病理診断科）
堀内みちよ（脳神経外科、小児科、皮膚科）
井野元章子（内科、循環器科、泌尿器科、眼科）
間々瀬さやか（産婦人科、整形外科、放射線科、麻酔科）

少しでもお役に立ちたいと思っていますので、気軽に声を掛けて下さい。
笑顔でお待ちしています。 よろしくお祈りします！



神恵貴美子（じんえ きみこ） 間々瀬さやか（まませ さやか）
堀内みちよ（ほりうち みちよ） 井野元章子（いのもと あきこ）

みなさんのご意見コーナー



当院では、患者さんのより良い医療環境づくりをめざして、患者さんやご家族などの来院者の方からご意見を伺い、それらへの対応を公表しています。ご意見の対応に係る公表は、皆様方との信頼関係を築く上で、大変重要なことと考えていますが、個人を中傷するものや具体的な内容の記述がないものは回答できない場合もあります。

皆様の具体的で、建設的なご意見をお待ちしております。

みなさんのご意見への回答(平成22年8月~22年10月分)

○朝早く予約をしたのに、外来待合室で2時間待ちました。

検査の結果を聞いただけだったので、先生のところでは「1分」もかからずに終了しました。せっかくの予約も意味がありません。

診察内容を見てから、順番変更など臨機応変に対応していただけないでしょうか。良い体調だったのに、2時間の待ち時間で疲れました。

●長時間、お待たせ致しまして申し訳ありませんでした。

結果説明につきましては、できるだけ順番を早めにするように対応しているところですが、外来患者様の病状や人数などで、早めの対応が困難な場合もございます。待ち時間が長くなりました時には、遠慮なく受付に申し出てください。

今後は、予約時間どおりに診察が進まない患者様や、長時間待たれている患者様には、順番や待ち時間などの状況をお伝えするようになっていきたいと思います。

○雨が降ったせいか車が多く、奥で誘導される方が「そここのところに入れろ」と言われたので、停めようとしたら「そこはダメ」「あっちやろ」と言われた。

空いてる所にバックで入れようとしたら次々と車が来て、もたもたしていたら「どんどん車が来るからすぐ入れんと他の人が入る」とえらい剣幕で言われました。

初めてこの駐車場に止めるのに、あんな大声ではげしい言葉は、私は運転が下手なので怖くなりました。やさしくとは言いませんが、もう少し柔和な態度お願いします。

●大変不愉快な、怖い思いをお掛けしましたことをお詫びいたします。

ご意見につきましては、本人及び警備会社の責任者に伝え、2度とこのような対応を取らないよう申し入れを行いました。警備会社からは、このような事のないよう、更なる警備員への接遇教育の徹底を図っていきますとの報告を受けました。

また、本人からも、気を付けて参りますとの反省の言葉がありました。

当院といたしましても、このようなことを繰り返さないよう、更に指導して参ります。



○生まれて初めて4か月以上も入院しました。

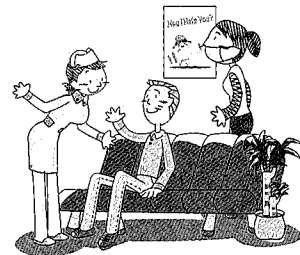
看護師さんの心遣いやお茶を運んで下さる方の声掛け、すごく有り難く感じました。

また、看護師長さんも明るくいつもニコニコと話を聞いて頂いたり、病棟全体が明るく、看護師さん達もそのせいか皆さん明るくとっても楽しい病棟でした。

患者の気持ちになり、看護して下さる方の優しさ、言葉がすごく励みになりました。有り難うございました。

●心温まる感謝のお手紙を頂き、有り難うございました。

これからも、患者様が少しでも気持ちよく入院生活が送れますように頑張ってお参ります。



※ここでの掲載は頂いたご意見の一部です。

※皆様からのご意見に対する回答は、院内掲示板または病院ホームページに掲載しています。

外来診療日程表

県立日南病院 平成23年1月

1階

循環器科	月	火	水	木	金
内科初診	原	原	原	原	原
膠原病初診 午後		田中(弦) 13時~15時			
循環器科初診	黒木	西山	黒木	田中(充)	田中(充)
再診	田中(充)	西	田中(充)	黒木	
再診	平塚	平塚	田中(弦)	西	西
再診	田中(弦)	石崎		石崎	黒木
再診	石崎	村山	ハースメーカー 外来(奇月) 黒木田中(充)	村山 (午後)	平塚
内視鏡					松本(英)
透視	西	西	西	西	西
気管支鏡				平塚 田中(弦)	
心カテ 検査(午後)		黒木・西山 田中(充)			黒木・西山 田中(充)
心エコー		黒木 田中(充)		西山	
ハースメーカー 手術			黒木・西山 田中(充)		

※内視鏡(金)は宮崎大学医学部の医師による診察

放射線科	月	火	水	木	金
診察		田中		古賀	
検査日	○	○	○	○	○

外科	月	火	水	木	金
一診	市成	帖佐	田代	市成	帖佐
二診	峯		峯		峯
三診	中尾				
手術日	○	○	○		○
透視				○	
内視鏡		○		○	
ストーマ外来				第4木	

※外来手術(月曜日の午後)
※ストーマ外来(第4木曜日 予約制)

脳神経外科	月	火	水	木	金
再診	松元	奥	宮田		松元
初診	奥	宮田	奥		宮田
紹介急患	宮田	松元	松元	○	奥
手術日				○	

整形外科	月	火	水	木	金
一診	初診	益山	松岡	松岡	初診
二診	松岡	三橋	初診	三橋	益山
手術日	午後	午後		午後	午後

神経内科	月	火	水	木	金
診察			山下	塩見	

2階

小児科	月	火	水	木	金
一診	木下	木下	木下	木下	木下
二診	管	管	管	管	管
検査日		午後2時から			午後2時から

耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金
診察	下園	下園	下園	下園	下園
検査日		午後		午後	午後
手術日	○				

眼科	月	火	水	木	金
一診	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤	斉藤
二診	荻野	荻野	荻野	荻野	荻野
検査日		午後	午後		午後
手術日	午後			午後	

泌尿器科	月	火	水	木	金
一診	新川	新川	新川	新川	新川
二診	永井	永井	永井	永井	永井
検査日	○		○		
手術日	○				

皮膚科	月	火	水	木	金
一診		☆			☆

☆宮崎大学医学部の医師による診察

産婦人科	月	火	水	木	金
一診	川越	川越	川越	川越	瀬戸
二診	瀬戸	山内	山内	瀬戸	山内
手術日		○	○		

精神科 心療内科	現在休診中
-------------	-------

通信欄
☆変更はありません

編集後記

あけましておめでとうございます。
県内は昨年口蹄疫の対応で大変でした。
今年は、近年にない寒さが到来して
います。体調をこわさないように健やかに
過ごしていきましょう。

(広報編集委員会)

第8回県立日南病院こどもスケッチ大会

優秀作品

6年生の部

最優秀賞



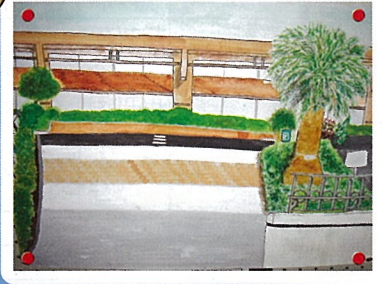
かわの ようすけ
河野 葉介さん

優秀賞



あまの ひじり
天野 聖さん

優秀賞



もりさこ ゆうき
森迫 裕基さん

努力賞



みやがわ まや
宮川 真弥さん

努力賞



かきもと しずか
垣元 静香さん

努力賞



こじま ようこ
児嶋 葉子さん

5年生の部

最優秀賞



よこやま しゆん
横山 舜さん

優秀賞



つのもり みさき
角森 美咲さん

優秀賞



おおどみ ゆうせい
大富 悠誠さん

努力賞



かわの あおと
河野 碧斗さん

努力賞



こだま もね
小玉 百音さん

努力賞



やました しゆん
山下 隼さん

今回は、平成22年10月6日(水)に日南市立桜ヶ丘小学校5・6年生の皆さんに描いていただきました。